**11．What would you like?**

**〜ビンゴゲーム〜**

ねらい：・I’d like~. / What would you like? の表現を使いながら、相手の好きな料理をたずね、自分の好きな料理を答えることができる。

　　　・黒板の絵カードを見ながら、料理名を書き写すことができる。

対象：小学校5年生

時間：30分

言語材料：＜語彙＞*gyoza*, grilled fish, ice cream, omelet, parfait, pizza, ramen, rice, rice ball, salad, spaghetti, yogurt, beefsteak, bread, cake, corn soup, curry and rice, *daifuku*, French fries, fried chicken, fruits

＜表現＞What would you like?　I’d like ～.

準備：ミッシングゲーム→黒板に貼る用の絵カード・文字カード

神経衰弱→　料理の文字カードと絵カード（各グループ絵カード10枚・　文字カード10枚の合計20枚）

ビンゴゲーム→　(黒板に貼る用)絵カード、料理の文字カード（1人9枚）

・三種類の料理カードを各3枚ずつ配る

・人気のある料理（カレー、ピザ、ラーメン）はどれか１つは全員が必ず持つようにカードを配布する×クラスの人数分

　ビンゴシート（1人1枚）×クラスの人数分

**このタスクの進め方**

**○Pre task**

1.料理の絵カード、文字カードを使ってミッシングゲームをする。

2.絵カードだけで3回,絵カードと文字カードを混ぜて3回,文字カードだけで3回やる。

**○Task 1＜神経衰弱＞　( 料理名の文字カードと絵カード)**

1. 児童を4人のグループに分け、各グループに絵カードと文字カードのセット20枚を配布する。
2. すべてのカードを裏向きにして絵カードと文字カードを分けて広げる。
3. カードをめくる順番を決め、ゲームを始める。

A（カードをめくる人）：１枚カードをめくる。（ice cream）

B,C,D (それ以外の人)：What would you like?

A: I'd like ice cream.（もう一枚カードをめくる）

めくったカードが同じだったら、もう一度挑戦することができる。

違ったら、次の人に代わる。

4．最後に何ペアカードを持っているか、クラスみんなで確認する。

**ワンポイント・アドバイス**

・文字カードのほうから先に引く

・続けてカードを引けるのは2回までにする

**○Task 2＜BINGO game＞**

1. ビンゴシートを作る。（3×3のビンゴシートに自分の食べたい料理を９個選んで、黒板の絵カードを見ながら書く）

2. 料理名の単語カードを１人9枚ずつ配る。（自分のビンゴシートと同じ文字カードがあったら貼ってもよい）

3. ペアを見つけ、次の会話をする。

A：Hello.

B：Hello.

じゃんけんをする

A(winner）: What would you like?

B (loser) : I’d like cake.　（自分のビンゴシートにある料理を聞く）

A:（持っていたら） Here you are.

（持っていなかったら）Sorry , I don’t have cake.

交代してもう一度やる

４．ビンゴシートに書いてある料理と同じ文字カードをもらったら、ビンゴシートに印をつける。

５．ゲームが終わったら、席に座り交換した絵カードをビンゴシートに貼り、ビンゴの数を数える。

たくさんビンゴをつくろう！

**ワンポイント・アドバイス**

・もらったカードはクラスメイトと交換しなくてもよい

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ayano Ito